

田村市の健康課題

健康で長く暮らしていくために、私たちはどんなことをすればいいのか。また、市ではどんな保健サービスを重点的に提供していくのか。

「田村市データヘルス計画」からポイントをとって、私たちの健康課題について考えてみましょう。

● 市民部市民課 ☎ 82-11112



ポイント① 死因

心疾患・脳血管疾患の割合は県・国より多い

まず、亡くなった人の死因を探ってみましょう。

最も多い死因は悪性新生物(がん)で、次に心疾患(心筋梗塞など)、脳血管疾患(脳梗塞など)と続きます。

「田村市データヘルス計画」とは

国民健康保険保健事業実施計画。国民健康保険の医療の状況や特定健康診査、介護保険に関するデータによって、市民の健康課題を把握し、健康寿命を延ばすために立てる計画のこと。

最新版(平成30年度～平成35年度の計画)を平成30年3月に発行した。

死因全体を占める主要死因の割合

	悪性新生物	心疾患(高血圧を除く)	脳血管疾患
田村市	23.7%	20.9%	13.4%
福島県	26.1%	17.7%	10.8%
全国	28.9%	15.5%	9.0%

〈福島県「保健統計の概況 平成27年版」〉

す。この傾向は、市内・福島県内・全国ともに同じです。

では、それらの死因は、死因全体ではどの程度の割合を占めるのか。

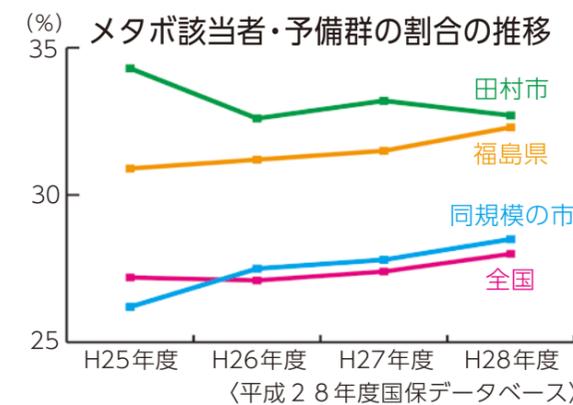
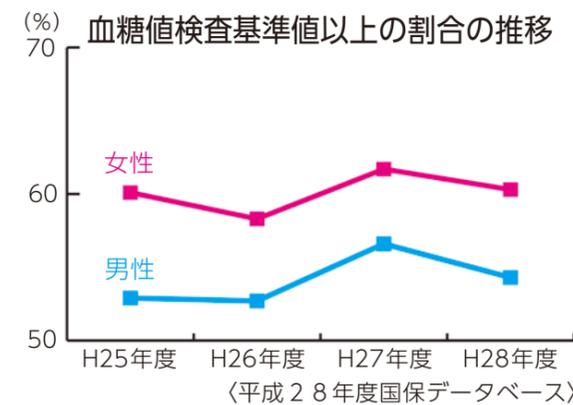
市では、悪性新生物で亡くなる人の割合が、県・全国より少ない状況です。

一方、心疾患・脳血管疾患で亡くなる人の割合が、県・全国と比べると大きいことが分かります。

医療費総額を占める
高血圧・糖尿病の医療費の割合

	高血圧	糖尿病
田村市	7.1%	6.2%
同規模の市(※)	5.1%	5.9%
福島県	5.9%	6.4%
全国	4.8%	5.5%

※同規模の市…人口3～5万人程度の市。平成28年度は259市。
〈平成28年度国保データベース〉



ポイント② 医療費

高血圧・糖尿病の年間医療費は3.8億円

平成28年度、田村市の国民健康保険(国保)加入者の医療費は約30億円で、そのうち生活習慣病(※)の医療費は35・4%でした。

中でも高血圧(約2億円)と糖尿病(約1.8億円)の医療費は多く、医療費総額の13・3%を占めています。

これは全国や県だけでなく、田村市と同規模の市よりも高い割合です。

※生活習慣病…食事や運動など生活習慣が原因で発症する疾患の総称。

ポイント③ 血糖値

受診者の半数以上が基準値超え

市が行っている特定健康診査に目を向けてみましょう。

血糖値検査(HbA1c(※))の結果を見ると、基準値を超える受診者が半数以上でした。特に女性は、6割以上が基準値を超えています。

基準値を超えると、病気が、特に糖尿病のリスクが高まります。

※HbA1c(ヘモグロビン・エー・ワン・シー)…血糖値検査の一つ。正常値は5.5%以下。

ポイント④ メタボ

県は全国ワースト3位、市は県よりさらに悪い

最後に、メタボリックシンドローム(※)について調べてみましょう。

平成27年、人口に対するメタボの該当者・予備群の割合で、福島県は全国ワースト3位となりました。

田村市はもっと悪く、32%前後から減少していません。将来、生活習慣病の増加が懸念されます。

※メタボリックシンドローム(メタボ)…胸囲が基準値以上で、高血糖・高血圧・脂質異常が重なっている状態。

市民の健康課題は「高血圧症」「糖尿病」

ポイント①～④を踏まえると、市民の健康課題のうち最も重要なものは、高血圧症と糖尿病と言えるでしょう。

高血圧症や糖尿病は、軽度のうちには自覚症状がありません。でも、その状態のまま何年も改善せずにいると、血管が傷ついていきます。その結果、脳卒中、心筋梗塞などの重い病気につながるのです。

では、どうすれば予防・改善できるのでしょうか？

高血圧や糖尿病の予防・改善方法は次のページ→